

研修報告

総務常任委員会

研修目的

単独でのまちづくりに向けた行財政改革の推進

研修地

△北海道松前町まつまえ（平成2年姉妹都市締結）



研修結果

18年度当初予算46億、町税5億4千万、自主財源比率22%、地方交付税は歳入の56%と高く、人口減少に加えて、三位一体改革の影響で非常に厳しい財政状況です。行革は、徹底した全ての事務事業の見直し、特別職・職員・議員他的大幅な給料・報酬の減額、又議員定数も来年の改選時には、18人を14人に削減します。そして特筆すべきは、機構、組織の簡素合理化に着手し、16年度に14課を9課に、さらに昨年11月には組織のフラット化となるグループ制を導入し、7課を4課に、教育委員会事務局は2課を1課に集約。職員数は220人が現在161人に、22年には138人となる定員管理の計画です。こうした厳しい状況下、昨年政



策推進室を設置し、町民と行政が対等な立場で責任を共有しながら、目標の達成に向けて連携する「町民協働型」のまちづくりを積極的に推進していきます。行財政改革が町民に理解され「自助と自立の精神」が醸成され、まちづくりの一端を担おうという気運が高まりました。当町もさらなる行革を推進し、魅力あるまちづくりを実践しなければと決意を新たにしました。

文教厚生常任委員会

研修目的

- 放課後児童クラブの取り組みについて
- 介護予防・高齢者筋力向上トレーニング事業の取り組みについて

研修地

△広島県府中町
△広島県海田町

研修結果

府中町は、広島市の広域合併の進行により、周囲を広島市に囲まれた町です。面積は松前町の約半分ですが、小学校5校、中学校2校があり、放課後児童クラブ在籍人数は、小学校3年生までの対象児童1,600名中450名で、約3割の児童が利用している状況でした。放課後児童クラブは、留守家庭児童会の名称で、4校は学校敷地内に専用の施設、1校は学校の余裕教室を利用していました。

障害児童を受け入れ、指導員を障害児加配として体制を組んでおり、開設時間も午後6時まで実施するなど、大変参考になりました。海田町は、面積が13.81km²、人口は約3万人、町花はひまわり、合併しないなど共通点も多く、介護予防事業として「筋力向上トレーニング事業」や「水中健康教室」を実施。筋力向上トレーニング機器には、指導員を配備し一般の方にも開放していました。